

優秀口演

9:30 ~ 11:00

座長 二宮 利治 (九州大学)

O(AW)-1 Physical multimorbidity patterns and depressive symptoms: a nationwide cross-sectional study in Japan

○青木 拓也^{1,2)}、山本 洋介^{1,2)}、福原 俊一¹⁾

- 1) 京都大学大学院医学研究科 医療疫学分野
- 2) 認定NPO法人 健康医療評価研究機構

O(AW)-2 東日本大震災福島第一原子力発電所事故と小児軽症頭部外傷のCT受療率の因果関係

○麻生 将太郎、松居 宏樹、康永 秀生

東京大学大学院医学系研究科臨床疫学・経済学

O(AW)-3 慢性腎臓病の疾患ステージ、患者の「希望」、セルフケア指標との関係性

○栗田 宜明¹⁾、脇田 貴文²⁾、石橋 由孝³⁾、鈴木 智⁴⁾、河原崎 宏雄⁵⁾、谷澤 雅彦⁴⁾、
Green Joseph⁶⁾、福原 俊一⁷⁾、柴垣 有吾⁴⁾

- 1) 福島県立医科大学附属病院 臨床研究教育推進部
- 2) 関西大学社会学部
- 3) 日本赤十字医療センター腎臓内科
- 4) 聖マリアンナ医科大学腎臓高血圧内科
- 5) 稲城市立病院
- 6) 東京大学大学院医学研究科
- 7) 京都大学大学院医学研究科医療疫学分野

O(AW)-4 肺炎症例におけるレセプト記載情報を基にした深層学習リスクモデルの構築と妥当性検証

○松居 宏樹¹⁾、伏見 清秀²⁾、康永 秀生¹⁾

- 1) 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学
- 2) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医療政策情報学分野

O(AW)-5 アドバンス・ケア・プランニング開始時期として患者が許容する病期とその関連要因 日台共同研究

○宮下 淳¹⁾、河野 文子³⁾、Cheng Shao-Yi⁴⁾、Hsu Su-Hsuan⁵⁾、山本 洋介²⁾、
清水 さやか²⁾、柏崎 元皓⁶⁾、大川 薫⁷⁾、藤崎 雅実⁸⁾、福原 俊一²⁾

- 1) 福島県立医科大学 白河総合診療アカデミー
- 2) 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療疫学分野
- 3) 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野
- 4) Department of Family Medicine, National Taiwan University Hospital
- 5) Department of Family Medicine, Taipei City Hospital
- 6) 淀さんせん会金井病院総合診療科
- 7) 亀田総合病院在宅診療科
- 8) 総合医療センター成田病院内科

○(AW)-6 低 ALT 値と重度要介護・死亡の関連：LOHAS コホート研究

○山崎 大¹⁾、紙谷 司²⁾、松居 剛志³⁾、山本 洋介¹⁾、福原 俊一¹⁾

- 1) 京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野
- 2) 京都大学医学部附属病院 臨床研究教育・研修部
- 3) 手稲溪仁会病院 消化器病センター

○(AW)-7 Decision Curve Analysis を用いた市中肺炎の死亡予測スコアの床的有用性の検証

○山本 舜悟^{1,2)}、山崎 新³⁾、清水 恒広⁴⁾、竹島 太郎^{5,6)}、福間 真悟⁷⁾、山本 洋介^{1,2)}、
栃谷 健太郎^{2,4)}、土戸 康弘⁸⁾、篠原 浩⁴⁾、福原 俊一^{1,2,6)}

- 1) 京都大学医学部附属病院 臨床研究教育・研修部
- 2) 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野
- 3) 国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター
- 4) 京都市立病院 感染症内科
- 5) 福島県立医科大学 白河総合診療アカデミー
- 6) 福島県立医科大学 臨床研究イノベーションセンター
- 7) 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻
- 8) 京都大学医学部附属病院 感染制御部

大会長講演「臨床疫学は、日本の医学にバランスをもたらす」

11:00 ~ 11:50

座長 吉澤 靖之（東京医科歯科大学 学長）

福原 俊一（京都大学 教授、福島県立医科大学 副学長）

ランチョンセミナー 4（第2会場の中継会場）

12:00 ~ 13:00

シンポジウム

13:10 ~ 14:40

「保健医療介護ビッグデータ研究の人材育成」

NDB・DPC などの保健医療ビッグデータや、介護ビッグデータを用いた研究が近年広まりつつある。しかしこれらの研究には、臨床医学・疫学・統計学の知識のみならずデータベースに関連する知識も必要となり、学際的なチームによる研究体制の構築が不可欠である。また、ビッグデータ研究の担い手となる臨床家やデータアナリストの人材は不足しており、その育成が急務である。本シンポジウムでは、保健医療介護ビッグデータ研究の顕著な実績のある演者らを招き、人材育成の現状と今後についてディスカッションする。

座長 康永 秀生（東京大学）

演者 1. 小林 廉毅（東京大学）

2. 中山 健夫（京都大学）

3. 田宮菜奈子（筑波大学）

4. 康永 秀生（東京大学）

最新の統計手法を臨床家が用いたら？

14:50 ~ 16:20

回帰不連続デザイン・操作変数法・時間依存性解析・ベイズ解析など、統計手法は日進月歩で、臨床家も最新の統計手法を積極的に活用している例もみられるようになった。しかし、そのような手法が果たして適切に選択され、使用されているかは Black Box のままである。そこで当セッションでは、最新の統計手法を自らが用いて出版した論文内容を臨床家が説明し、これを統計専門家がレビューし注意点や改善点を明らかにする。

座長 山中 竹春（横浜市立大学）

コメンテーター

田栗 正隆（横浜市立大学）

田中 司朗（京都大学）

演者 1. 土谷 飛鳥（東京大学）

抄録タイトル： Tracheostomy and Mortality in Patients with Severe Burns: A Nationwide Observational Study

用いた統計手法： Inverse probability of treatment weighting methods and a marginal structural Cox proportional hazard model.

出版した論文の PMID： 29980328

コメンテーター： 田中 司朗

演者 2. 青木 拓也（京都大学）

抄録タイトル： Multimorbidity patterns in relation to polypharmacy and dosage frequency: a nationwide, cross-sectional study in a Japanese population

用いた統計手法： 多次元項目反応理論

出版した論文の PMID： 2949144

コメンテーター： 田栗 正隆

演者 3. 笹渕 裕介（自治医科大学）

抄録タイトル： 東日本大震災が「避けられる入院」に与えた影響

用いた統計手法： Difference-in-Differences

出版した論文の PMID： 27612980

コメンテーター： 田中 司朗

演者 4. 福間 真悟（京都大学）

抄録タイトル： 未測定交絡への対処
(Challenge to adjust for unmeasured confounding)

用いた統計手法： 操作変数法

出版した論文の PMID： 28764919

コメンテーター： 田栗 正隆

表彰式、閉会式

16:30 ~ 17:00

第2会場 | 百周年時計台記念館2階 国際交流ホールⅠ＋Ⅱ

優秀口演（第1会場の中継） 9:30～11:00

大会長講演（第1会場の中継） 11:00～11:50

ランチオンセミナー4「JMDCデータを用いた臨床疫学研究」 12:00～13:00

座長 二宮 利治（九州大学）

演者 康永 秀生（東京大学）

共催：株式会社JMDC

第3会場 | 百周年時計台記念館2階 国際交流ホールⅢ

研究実践ワークショップ6 10:20～11:50

「これでもう査読依頼もこわくない！

チェックリストを用いた系統的査読のすすめ～観察研究編～」

企画責任者

大前 憲史（福島県立医科大学）

ファシリテーター

片岡 裕貴（兵庫県立尼崎総合医療センター）

長沼 透（福島県立医科大学）

高橋 世（福島県立医科大学）

山崎 大（京都大学）

堤 悠介（国立病院機構水戸医療センター）

吉岡 貴史（福島県立医科大学）

本多 通孝（福島県立医科大学）

伊藤 文人（福島県立医科大学）

PRO シンポジウム

12:00 ~ 13:00

「革新的 QOL 尺度 QGEN-10[®] と複合併存疾患インパクト尺度 QDIS-7[®]」

演者の John Ware 教授は、QOL 尺度デファクトスタンダードとなっている SF-36 などの SF-tool を開発した研究者として世界的に著名な研究者である。

QGEN-10[®] は、PROMIS (Item Bank に関する大規模公的共同研究プロジェクト) などを経て Ware 博士によって開発された包括的 QOL 尺度である。10 項目と項目数が少ないにもかかわらず、測定精度および測定範囲 (天井効果や床効果の改善) が従来の尺度に比較して格段に向上しており、今後 SF-tool を置き換えることが予想されている。

QDIS-7[®] は、複合慢性疾患の併存 (multi-morbidity) が常態的な超高齢者が医療資源の大半を消費する時代を迎え開発された、慢性併存疾患のインパクトを測定する尺度である。従来の comorbidity index と異なり、開発時の validation のアウトカムに死亡ではなく、QOL を用いているのが特徴である。また、測定の metric は、慢性疾患の種類にかかわらず標準化されているため、異なる疾患間の比較が、そして国民標準値との比較が可能である。

座長 福原 俊一 (京都大学 教授、福島県立医科大学 副学長)

演者 John E. Ware, PhD (マサチューセッツ大学 教授)

研究実践ワークショップ 7

13:10 ~ 14:40

「論文の批判的吟味～研究計画と情報収集～」

企画責任者

竹内 正人 (京都大学)

ファシリテーター

川上 浩司 (京都大学)

金沢 佑治 (京都大学)

松林 恵介 (京都大学)

関 知嗣 (京都大学)

水野佳世子 (京都大学)

新川 神奈 (京都大学)

中畷 雅之 (京都大学)

松山 奈央 (京都大学)

第 4 会場 | 百周年時計台記念館 2 階 会議室Ⅲ

Meet the Expert2

12:00 ~ 13:00

川上 浩司 理事、宮田 裕章 理事、宮田 俊男 理事

第5会場 | 国際科学イノベーション棟西館5階 会議室 5a+5b

スペシャルグループワークショップ2 13:10 ~ 14:40
「プライマリ・ケア：プライマリ・ケア研究
プロトコール・ブラッシュアップセミナー」

企画責任者
青木 拓也（京都大学）
ファシリテーター
金子 惇（浜松医科大学）

スペシャルグループワークショップ3 14:50 ~ 16:20
「多職種：多職種チームで「カイゼン」を、
学会抄録ブラッシュアップ!!」

企画責任者
渡部 一宏（昭和薬科大学）
ファシリテーター
紙谷 司（京都大学）
板谷 崇央（京都大学）

第6会場 | 国際科学イノベーション棟西館5階 シンポジウムホール

ランチョンセミナー5 12:00 ~ 13:00
「中規模病院で臨床研究を盛り上げる！
～救急リアルワールドデータ構築の試み～」

座長 1. 園生 智弘（日立総合病院・TXP Medical 株式会社）
演者 1. 志賀 隆（国際医療福祉大学）

座長 2. 志賀 隆（国際医療福祉大学）
演者 2. 園生 智弘（日立総合病院・TXP Medical 株式会社）

共催：TXP Medical 株式会社

教育講演2「臨床疫学研究の最前線」 13:30 ~ 14:40
学会参加者から特に要望の高かったテーマ（未測定交絡の調整、ネットワークメタアナリシス）における最新の知見に関して、エキスパートに教育講演をしていただく。

座長 宮田 裕章（慶應義塾大学）
二宮 利治（九州大学）
演者 1. 福間 真悟（京都大学）
2. 古川 壽亮（京都大学）